

“ 想いを育てて、歩むこのまち  
～居心地よく歩きたくなるまちなかを目指して～ ”

弘前市まちづくりプレイングマネージャー  
株式会社クロックアップ代表取締役  
中村 公一さん

1978年五所川原市生まれ、弘前市立第三中学校卒業。2009年に青森市で株式会社クロックアップを設立し、同市内に飲食店などを複数開業。これがきっかけでエリアー帯に連鎖起業するお店が増え、商店街の空き店舗がゼロに。2023年3月に公募型プロポーザルにより、弘前市まちづくりプレイングマネージャーに就任。

市では、土手町を中心とした小さなエリアから、誰もが居心地よく過ごせて、歩いて巡りたくなるような場所にしていく「歩きたくなるまちなか形成事業<sup>(※1)</sup>」を進めています。

(※1) … 市とひろさきウォーカブル推進会議が連携して作成したエリアの将来ビジョンを軸に、「まちなかピクニック」等でのオープンスペースを活用した空間の価値づくりと、まちづくりプレイングマネージャーによる空き店舗などを活用した沿道の魅力づくりの両輪で構成され、まちのにぎわいを作り出すことで地域経済循環の促進を目指しています。

この特集では、市とともにエリア再生に取り組む「まちづくりプレイングマネージャー」や、エリア内で魅力的なお店を開業した皆さんを紹介します。

問い合わせ先 都市計画課 (☎ 35-1134)

こんなこともやってます！ /

### まちの未来スクール

まちづくりを実践し活躍する人物を市内外から講師として招き、将来的に市の都市課題を解決するためのビジネスプランや事業計画を3日間で作成する短期集中型スクールです。グループごとに実際にまちなかにある空き店舗を割り当て、その場所での事業計画を作成し、最終日には金融機関や不動産オーナーなどにプレゼンテーションします。

スクール終了後は、作成された事業計画のブラッシュアップを行い、金融機関での資金調達など、開業後も含めてプレイングマネージャーや市が事業のサポートをします。

これまで、2023年の第1期から毎年開催しており、延べ44人が参加し、複数のお店等の開業につながっています。

◀ ユニットワーク（事業計画の組み立て）の様子

// まちづくりプレイングマネージャーにインタビューしました //

Q

プレイングマネージャーとして市でどのような活動をしていますか？



一言でいうと「エリアの価値を向上させるまちづくりの活動」をしています。具体的には、パブリックマインド<sup>(※2)</sup>を持った担い手の発掘・育成、民間プレイヤーの開業支援や自主事業の開業準備まで多岐にわたります。また、それらを実践するまちづくり組織「ひろさき家守舎（やもりしゃ）」の立ち上げも行いました。

(※2) …公共のために行動しようとする気持ち

Q

弘前でのまちづくりの魅力はどこにあると考えますか？



まちを自分たちで何とかしたいと思っている人が多いと感じているので、そこが魅力であり、他の“まち”にはないかけがえのない資産だと思います。

Q

プレイングマネージャーの活動にはどんな特徴がありますか？

プレイングマネージャーとしての活動を通じて、挑戦する人が自然にどんどん生まれてくるようなまちの土台を作り出すことを目指しています。

また、開業エリアを絞っているところもポイントです。例えば、同じ10店舗の開業でも、半径2km圏内と半径200m圏内だったら後者の方がにぎわいが生まれやすいですし、小さいエリアにコーヒー屋、パン屋、本屋、公園があつたら、それらの店で買ったものを公園に持っていく、コーヒーを飲んでパンを食べながら本を読むことができますよね。まちを1つの商業施設と見立てて、“ホッピング<sup>(※3)</sup>”を考えながら、エリア価値向上に取り組んでいます。

(※3) …複数の店や場所を歩いて巡ること

Q

プレイングマネージャー事業は令和8年度で終了となります、今後はどのように活動を展開していきたいですか？



約2年10ヶ月の活動の中で、伴走支援してきたお店が次々に開業してきたので、まちが面白くなってきたことを市内外に知ってもらうために、情報発信に力を入れていきたいと考えています。また、現在も開業の相談を数件受けており、さらに自分がプレイヤーとしてやりたいこともいくつかあるので、それらを実現していくように引き続き頑張っていきたいです。

プレイングマネージャーの期間終了後は「ひろさき家守舎」として現在の活動を続けながらも、より家守<sup>(※4)</sup>らしい観点で、活用できそうな不動産を発掘していく、“大家さん”と“事業をやりたい人”的マッチングに力を入れていきたいです。

(※4) …使われていない建物と事業を始めたい人をつなぎ、まちに新しいお店や活動を生み出したり、にぎわいをつくりたりすることでもまちの価値を高める人のこと



まちの未来スクール 2025で作成された事業計画 /

士手町スタジオ

2F: フィットネスルーム、会議室、休憩室  
1F: オフィス、会議室、休憩室

「土手町スタジオ」～土手☆スタ～  
“教育”をテーマにさまざまな年代が  
集える複合型商業施設

みんなで考える公園「park and.」

自由度が高い  
誰でも入れるプライベート空間

ビルの利活用イメージ

- 屋上: 多目的利用
- 4F: 宿泊施設
- 3F: 商店街
- 2F: ヒカリ文庫の蔵書（あひるこじまきの蔵）
- 1F: テナント

まちのやさしい「交流の場」  
宿泊施設、おかげ屋、  
コーヒースタンドが入ったビル